




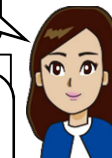


小・中学校 授業づくりシート	学年	小6	内容項目	相互理解, 寛容
「発達」の段階一覧表」を踏まえた				
指導観	内容項目の理解	実態把握	教材の活用	
	客観的な見方が備わり、相手の立場で物事を考えられる発達の段階と中学校の「相互理解, 寛容」の内容を踏まえ、異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考えを生み出そうとする道徳的判断力を育てたい。	自他を客観的に捉えたり、自律的な態度が発達する発達の段階から、考えが違ふ人を遠ざけたり、異なる意見や立場を受け入れることに抵抗を持つ児童がいる。	教材は「ブランコ乗りとピエロ」を活用する。客観的な見方や多面的な見方が備わる発達の段階を踏まえ、ピエロとサムそれぞれの立場で考えさせた上で、自分とピエロやサムの姿を比較して考えさせ、ねらいとする道徳的価値に対する自分の姿を自覚させたい。	
ねらい	互いの立場や思いを尊重し合った二人と自分の姿を比較することを通して、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考え方を生み出そうとする道徳的判断力を育てる。			
手立て	自身を振り返ったり相手を尊重したりしながら、ピエロとサムが互いに分かり合ったことについて、児童が捉えられるように板書をする。			
指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>実態把握から想定した児童の問題意識</p> <p>考えの違う人がいると、考えを聞き入れられないことがあるな。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>どうしても、話しやすい人と集まることが多い。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">課題「人が分かり合うために、大切なことは何だろうか？」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">人が分かり合うために大切なこと</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">自分を振り返り、人の考えや立場を認める。そして、伝える。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">ピエロの憎む気持ちが消えた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばっていたから。</li> <li>・サーカス団のためだと分かったから。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分こそまで本気だったか。</li> <li>・自分も見直すべきところがなかったか。</li> <li>・よりサーカス団を思っていたのはどちらか。</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">サムにとってピエロは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俺のことを嫌っている。</li> <li>・偉そうなことを言って！</li> <li>・お前も目立ちたいだけ。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">認めたくない</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ピエロにとってサムは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言うことを聞かない！</li> <li>・新入りのくせに！</li> <li>・自己中なやつだ。</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">サム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよいサーカスにしたい。</li> <li>・一生懸命な人。</li> <li>・もっと腕を磨きたい。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">ピエロ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよいサーカスにしたい。</li> <li>・みんなのことを思っている。</li> <li>・サーカス団のまとめ役。</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">よりよいサーカス団として</p>			
目指す児童の発言や考え	<p>皆さんは、人の考えや立場を大切に、互いに考えを伝え合うことができているか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>聞いた方がいいと分かっているけど、否定されることを嫌がってしまう自分があるなあ。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人の考えを聞いて、違うと思ったときは伝えるようにしている。話し合うことは勇気があるけど大切だから。</p> </div> </div>			

「発達」の段階一覧表」を踏まえた

指導観	内容項目の理解	実態把握	教材の活用
	自分の判断や意志で生きていこうとすることや身の回りの法やきまりを批判的に捉えるようになる発達段階を踏まえ、法やきまり等の意義を自覚して行動しようとする判断力を育てたい。	行為の結果と動機のどちらも踏まえて、深い思索ができるようになるとともに自律への意欲が高まる時期である。そのため、法やきまり等に反発する様子が見られるようになってきた。	教材は「二通の手紙」を活用する。行為の結果と動機を踏まえた思索ができることや自分の判断や意志で生きていこうとする発達段階を踏まえ、規則の例外を認めることの問題点を考えさせることを通して、きまりの意義を改めて捉えさせる。

**ねらい** 規則の例外を認めることについて考えることを通して、集団や社会の安定を守るために規則やきまりがあることを理解し、主体的に遵守しようとする道徳的判断力を育てる。

**手立て** 身の回りの規則やきまりを批判的に捉えたり、その意義に疑問を持ち始めたりする発達段階を踏まえて生徒に問題意識を持たせ、法やきまりの意義を自覚し、主体的に遵守しようとする思いを持たせることができるように発問を構成する。

**指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）**

（受験生のために、本来止まらない駅で電車を停車させた事例を紹介）  
 皆さんは、運転手さんたちの行為をどう思いますか。

実態把握から想定した生徒の反応と問題意識

困っている人のためにやったのだから、よい。

ダメなことだけど、理由を考えると仕方ない。

優しいとは思いますが、止まらない予定なら規則を守らないといけないかな・・・。

元さんが仕事を辞めたことについてどのように考えますか。

辞める必要はない。元さんはよいことをしたはず。

難しいね。やったことは正しいけど・・・。

きまりだから仕方ないと思う。

今回のことを許すことは、きまりの例外を認めることになる。きまりの例外を認めることについて、どのように考えますか。

認めることも必要。きまりが絶対ではない。

どんな理由でも、一つを認めたら他も・・・。

何もないからよかったですでは済まない。

どちらの立場も、誰かのためにという思いがある。

きまりの意味や誰かのためにという思いまで考えたことがなかったな。

本時で目指す生徒の発言や考え

皆さんは、規則やきまりに対してどのような思いを持って生活していますか。

自分は規則やきまりを守ることを、人に言われてやっているから嫌だと考えていた。

言われているからには守らないといけないな、程度に思って生活していた。

規則やきまりが何のためにあるのかを考えたことはあまりなかった。

これからは、自分の周りにある規則やきまりの意味をしっかりと考えて生活していきたい。